

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和8(2026)年4月8日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「4月6日、警察学校の入校式に出席したが、入校する学生の志が感じられる精一杯の姿を見て本当に良かった。これから大変な苦労があると思うが、この若者たちを鍛え、育て上げてほしいと心の底から思った。今の時代、人を育てるには、指導することの必要性や理由を説明し、着地点等の見通しを示しつつ叱咤激励をしていくことが大切であり、上司に最も求められるのは部下の話をよく聞くことだと思う。上司が部下のことを理解するためには、上司の方が『話を聞き理解する』という積極的な気持ちで声をかけ続けることが重要であり、『上司が見てくれている』という認識は部下が業務を進める上での大きな励み、意欲にもつなげるので、職場の課題も解決しながら職員を育てるという観点から、一人一人の職員に声をかけ続けていってほしい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和8年春の叙勲及び第46回危険業務従事者叙勲の内示について

警察本部から、「『令和8年春の叙勲』及び『第46回危険業務従事者叙勲』の内示について報告する。初めに『春の叙勲』であるが、上申の結果、受章者はいなかった。『危険業務従事者叙勲』は17名の方が受章を予定している。伝達式は4月30日に警察本部で行い、来賓は公安委員長及び警友会連合会会長を予定している。また、受章者の中で希望する者は皇居での拝謁を予定している。広報については内閣府賞勲局が一括して報道発表し、解禁予定日は『春の叙勲』が4月29日、『危険業務従事者叙勲』が4月11日であり、県警察でも広報予定である。」旨の報告があった。

【生活安全部議題】

○ 令和8年度特殊詐欺被害防止広報事業に係る企画コンペの開催について

警察本部から、「本事業は、安全・安心な県民生活の脅威となっているSNS型投資・ロマンス詐欺を含む特殊詐欺について、県民の防犯意識の高揚を図るため、情報源であるテレビコマーシャルやSNSを活用した注意喚起の広告、ポスター・チラシを活用した広報啓発を展開するものである。コンペは4月10日午後1時30分から警察本部で行う。審査委員は、企画コンペの透明性・公平性を確保するため、警察以外の県職員や学識者を充てており、委員長が生活安全部参事官兼生活安全企画課長、その他、警察本部の委員が、生活安全企画課特殊詐欺対策室長及び同課特殊詐欺対策係長、部外の委員が、岩手大学人文社会科学部鈴木護教授、岩手県政策企画部広聴広報課員及び岩手県立県民生活センター職員の合計6名である。コンペ参加業者は県内に事業所、営業所を置く業者6社としている。今後のスケジュールは、6月以降に警察本部長の確認を経て公安委員会に報告後、6月下旬にはテレビコマーシャルの放送を開始する。8月には、SNSの広告バナーを制作し、10月以降にSNS上での配信も行う予定である。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「特殊詐欺等の防止の広報活動は非常に重要な取組なので、しっかり進めるようお願いしたい。また、民放等の協力を得て独自に広報してもらうなどすれば、県民が触れる機会も更に増えると思うので、様々な方法を検討していただきたい。」

■個別会議

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

保存期間が満了した岩手県公安委員会が保有する行政文書（ファイル等）の措置（諮問）についての説明、決裁

公安委員会あて苦情の受理についての説明、決裁